

# 祥明大学校・交換留学 報告書

文学部英語英米文学科 高山 菜々子

## はじめに

2月から6月までの約4か月間、韓国はチョナン市にある祥明大学に交換留学生として在籍していました。通常では1年の留学でしたが、今回はコロナのため前期で留学を中止しました。講義とテストは全てオンラインで行われました。出かけることができた場所も限られていましたが、その中で、どのような留學生活を送っていたのかお話ししたいと思います。



## 授業

私は、留学生向けの授業3つと、日本語学科の韓国の学生が受ける授業を2つ履修しました。県立大学から交換留学する場合は、サンミョン大学で日本語を学んでいる学生と同じ学科に通うこととなります。日本語を熱心に勉強する韓国の学生と一緒に授業を聞けることは新鮮でした。

「日本語フリートーキング」という授業は、日本人の先生が講義されていて、韓国の学生と一緒に社会問題について討論する授業でした。韓国の学生たちは、とても意欲的に発言していてとても刺激を受けた授業でした。

ところがふしぎなことに、みんなが頭を下げている間、おぼうさんの耳がペラペラッ、ペラペラッ、と動きます。

그런데 이상하게도 모두가 머리를 숙이고 있는 동안 스님의 귀가 펠릭펠릭, 펠릭펠릭(?) 하고 움직였습니다.

\*ところが: (접속사) 그런데, 그랬더니, 그러나

\*ふしぎなことに: ふしぎ하다+ことに(-하게도) / 이상하게도

ことに의 접속 형태: 이형용사 기본+ことに / な형용사 어간+나+ことに / 동사 과거형+ことに

\*ペラペラッ: (?)

ペラペラ는 일본 고유한 표현 것 같아요!

뭔가 얇은 것이 흔들리는 모양을 표시 하는

느낌입니다!

예) 종이가 페라페라와 바람에 흔들리다.



←

「日本語3」という授業では、日本昔話を使って班ごとにオンラインで解説しました。

留学生向けの授業では韓国の文化や歴史について勉強しました。サンミョン大学には、中国、ロシア、ウズベキスタン、カザフスタンから留学生が来ていました。授業を通して、韓国と様々な国を比較して考える機会もあり楽しかったです。そして、オンライン授業のため、毎週 200 字程度の感想文を書く課題がありました。間違いがあれば丁寧に指摘してくれる先生もいて、留学前よりも書く力がついたと感じています。

「韓国文化入門」という授業では、学期末に 4 人 1 班でオンライン上の発表の課題がありました。韓国語で連絡を取り合い、役割分担を決め発表の準備をするのは少し大変でしたが、頑張った分だけ達成感を得ることができました。

## 寮生活

寮は男女別に分けられていて、女子の交換留学生は旧館、そのほかの女子・男子学生は新館で生活していました。旧館の場合は、シャワーとトイレは共同でした。そして、寮の中には電子レンジと、水とお湯が出るサーバーのみが置かれていたので、食事はお米や、サツマイモをチンして食べたり、外へ食べに行ったり、友達と一緒に部屋で配達を頼んでチキンを食べたりしました。

基本的に、朝から夕方まで、寮の中でオンライン授業、課題、自習をして過ごしていました。夜になって勉強が終わると、ルームメイトの蓑田さん(日本語日本文学科)や、岡山から留学に来ていた橋本さんと部屋で話をするのが楽しかったです。

橋本さんのルームメイトはスヒョンさんという韓国の学生だったので何度か学校の周りのカフェやご飯屋さんに連れて行ってくれました。学校から 5 分ほど歩いたところに大きな湖がありました。私も気分転換によく散歩に行った場所です。湖の周りにはカフェが沢山あってスヒョンさんとみんなで一緒に遊びに行きました。私の韓国語のレベルでは沢山話すことは難しかったですが、それでも毎回とても楽しい時間を過ごせました。





留学の後半には、留学担当の先生がご飯に連れて行ってくれました。そしてその後に、残ったロシアとウズベキスタンの留学生の子たちとカフェに行きました。授業で会って仲良くなる機会がなく残念に思っていたのですが、最後にいろんな国の留学生と韓国語でコミュニケーションをとる機会ができて嬉しかったです。

## 最後に

韓国に行く前、ただ漠然と『韓国語が話せる自分になりたいから』勉強を頑張ろうと思って韓国へ行きました。

韓国に来て1週間もたたない時、日本語が通じない状況、WiFiもない場所で、周りの人に頑張って韓国語で助けを求めたことがありました。電話番号も持っていなかったのでわざわざお店に電話をかけてくれて、その場所まで連れて行ってくれたり現地の人やさしさに心が温かくなりました。他にも、何度か困ったときに韓国語で助けを求めると、その度にやさしく教えてくれました。そして、漠然としていた韓国語を勉強する動機は、その時に助けてくれた人にしっかりとした韓国語でお礼を言えるようになるためという具体的なものになりました。留学を経て、何のために韓国語が勉強したいのか具体的な動機を見つけることができたのは大きな収穫でした。

留学期間中はアルバイトもなく、好きなことに集中して、自分の色々な気持ちともじっくり向き合える時間でした。今回の留学でできなくて悔しかったことも、いつか必ず実現させたいという気持ちが今後の私にとっての活力になってくれると思います。

留学前からいつも応援してくれた家族、留学に送り出して下さった、県立大学の先生方、学生支援課の皆さん、祥明大学の先生方にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。